

第 41 期 通期（期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）の事業報告

北条鉄道では、安全を第一に、安心・信頼していただける鉄道を目指しています。便利で安心して乗っていただく広報活動を行い、お客様に喜んでいただくサービス向上を図っています。また、運転取扱実施基準規程を遵守し、運転士・運転指令員の教育を実施し安全運行に務めています。

（乗降人数の推移および運賃収入について）

法華口駅行違い設備は現在も順調に稼働しています。学生たちの春、夏（小野高の登校日を除く）、冬のそれぞれの休みは 1 両での運行としましたが、そのほかの期間は、朝 2 便 2 両編成で運行しました。

輸送人員は 392,296 人と昨年に引き続き過去最高の実績となり、対前年度（387,836 人）増減率 1.1 % 増となりました。

内 定期券	230,940 人	前年度（222,900 人）比	3.6%増
内 通勤	46,920 人	前年度（43,620 人）比	7.6%増
通学	184,020 人	前年度（179,280 人）比	2.6%増

通勤（前年比 4.2%増）、通学（同 6.2%増）定期収入（4.2%増）は、36,981,835 円で全体の 43.4%を占め、特に通学定期は売上げの 31.7%を占めています。

一方、運賃箱収入は 1.2%、回数券収入は 4.8%、団体券収入は 4.2%の減となり、運輸収入全体では、こちらも過去最高の 85,159,631 円で昨年比 1%の増となりました。

（主なイベント）

5 月 3～5 日 北条鉄道 こどもまつり 2024 スタンプラリー & 列車洗浄体験

5 月 23 日 第 40 期北条鉄道 取締役会

6 月 3 日～7 日 令和 6 年度「トライやるウィーク」6 名受入れ（善防、北条、加西）

6 月 24 日 第 40 期北条鉄道株主総会

7 月 13 日～14 日 第 24 回北条鉄道カブト虫列車 2024 運行

8 月 6 日～8 日 第 3 回北条鉄道写生大会 2024 開催

8 月 17 日・18 日・24 日・25 日 第 6 回北条鉄道ビール列車運行

9 月 22 日 丸中製菓殿主催「ドーナツイベント」播磨横田駅

9 月 27 日～28 日 夜更かし列車（キハ 40 車内泊）

10 月 13 日 第 16 回北条鉄道まつり 2024

11 月 2 日～3 日 ハロウィン列車

11 月 24 日～1 月 4 日 長駅・田原駅・法華口駅 イルミネーション点灯

12 月 1 日 きもの Coco'n 主催 第 1 回きもの列車

12 月 7 日～8 日、14 日～15 日、21 日～22 日 第 34 回サンタ列車 2023 運行

3月15日・16日・22日・23日 第8回おでん列車 2025

3月31日 令和6年度網引駅西方300m列車脱線事故慰霊祭

(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業について)

車両・設備等整備事業では、車両重要部検査、枕木(PC枕木含む)、レール交換・踏切保安設備更新等補助事業を活用し計画通り進めました。

また、フラワ2000-1号の全般検査中にATS送受信器の不具合が確認され修理に時間を要しており、フラワ号部品の調達に苦勞するのが常態化しています。

(観光振興事業費補助金(公共交通利用環境の革新等事業)について)

本事業では、41期及び42期の2か年で交通ICカード(ICOCA)システムを導入するもので、41期においてはシステムの構築を行いました。

(運輸安全マネジメント活動について)

輸送の安全を確保するため、2ヵ月に1回指導訓練会を行っています。運転従事者はもとより、全社員を対象として他山の石の活用に加え、自社でのヒヤリハット事例等を参考にし、事故防止に活かしています。

輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態として、

1. お客様よりの苦情・要望について、年間目標3件以下のところ0件発生しました。
2. 沿線全般についての不具合事項について、年間目標25件以内のところ23件発生。
3. 責任事故・インシデントについて年間目標0件のところ、0件でした。

(決算報告について)

売上高は、9,668万円と対前年度増減率0.8%減(−64万円)。旅客運輸収入は過去最高でしたが、運輸雑収と商品売上の減によるものです。

売上原価(商品原価+運送原価)は、15,986万円と対前年度増減率3.8%増(+595万円)

売上総損失は、6,318万円と対前年度増減率11.7%増(+660万円)

営業損失は、9,473万円と対前年度増減率7.3%増(+645万円)

経常損失は、3,224万円と対前年度増減率52.8%増(+1,114万円)

加西市より3,216万円、小野市より88万円の運営費補助金を特別利益として計上。

結果、税引前当期純利益として80万円となりました。

修繕費については、第41期は4,959万円。対前年度(5,376万円)増減率7.8%減となりました。

動力費については、軽油単価の高止まりが続いており 989 万円。対前年度（974 万円）増減率 1.5%増となりました。

経費については、3,552 万円。対前年度（2,754 万円）増減率 29%増（798 万円）となりました。

（人事の動き）

4 月 1 日 佐藤課員、武津課員、谷口課長入社
4 月 8 日 藤井アルバイト課員入社
12 月 2 日 入江課員、松尾課員入社
12 月 31 日 佐藤課員退職
1 月 31 日 谷口課長退職
2 月 3 日 今井課員入社
2 月 5 日 藤井アルバイト課員退職
3 月 31 日 岡田課員定年退職、藤井部長、武津課員、松尾課員退職

（今後の見通し）

以上のように、旅客運賃収入は微増ですが、商品売上等がいまひとつでした。

運輸雑収では、「記念入場券」の原価の見直し、「運転体験」等の提供回数の増に取り組んでいきたいと思ひます。

商品売上げは、鉄道イベントに積極的に参加して、グッズの売上げ増を目指します。

車両部および軌条部においては、日常点検（目視・異音・気づき）を重視し、引き続き、小さなリスクをつぶしていく活動をしてまいります。

加えて、人員の安定的な確保による安全運行の堅持を目指し、職員の給与体系や福利厚生
の向上にも努めてまいります。

以上